

教えて!! わたした島 うちなー

平和で豊かな「美ら島おきなわ」の実現に向けて、その道のスペシャリストに聞いてみよう!僕らが知っておくべきこと・できることをわかりやすく伝えます。



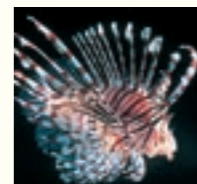
©OCVB

楽しく海で遊ぶために
気をつけよう!
海のキケン生物

沖繩の海に生息する海のキケン生物 /



ウンバチ
インギンチャク



ミノカサゴ

ハブクラゲ

県内のほぼ全域に分布し、5~10月頃に発生します。水深50cmほどの浅い場所において、刺されるととても痛くショックを起こすこともあります。



楽しく海で泳ぎたいなあ



何にでも
興味津々の
「シマ之助」



キレイなものが
大好きな
「チュラ子」

海 開きがひと段落し、ついにマリンスポーツの季節が到来!しかし海へ飛び込むその前に、ぜひ知っておいてほしいことがあります。それが、危険な海の生き物について。代表的な海の危険生物であるハブクラゲを中心に、応急処置などを紹介します。安全に海を楽しむために、正しい知識と十分な備えをしましょう!

Q 海には危険な生き物がたくさんいるって聞いたけど、どんなものがあるの?

昨年沖縄県に一番多く被害報告があった生き物がハブクラゲだよ。他にもウミヘビやオニヒトデなど、見るからに怖そうな生き物から、ミノカサゴやウンバチインギンチャクなど、一見害がなさそうな美しい生き物まで、たくさんの危険生物がいるよ。

もしハブクラゲに刺された場合の 応急処置方法をイラストで紹介!します。

- 刺されたらすぐに海からあがる。刺された部分は絶対にこすらない。
- 酢(食酢)を触手にたっぷりかける。酢には刺胞の発射を抑える効果があります。
- 触手を手でそっと取り除く。
- 痛いときは氷や冷水で冷やす。→病院へ

応急処置の後は、細菌による二次感染を防ぐために患部を清潔に保ち、医師の診察を受けましょう。

Q その生き物たちは、なんで人間を刺したり噛んだりするの?

彼らは人間を傷つけないわけではなく、あくまで自分の身を守るために攻撃するんだ。彼らにとって海は「自分の家」だから、人間はそこに勝手に入ってきた邪魔者。もし知らない人が自分の家に勝手に入ってきたら、誰もが嫌だと感じるよね?海に入るときは、まず「彼らの家にお邪魔している」という意識を持つことが大切だね。そして事前によく準備すれば、彼らと海を共有できるはずだよ。



事前に近くの病院も確認しておくことさらに安心だよ。しっかり準備して、今年の夏も思いっきり沖縄の海を楽しんでね!

正しい知識で沖縄の海をエンジョイしよう!

ハブクラゲの持つ触手は、刺胞(毒針と毒液が入ったカプセル)がたくさんあり、肌などに触れると刺激を受け毒針が飛び出し毒を注入します。触手に触れた後も未発射の刺胞があるので、酢を掛けることが大切です。



県ではこういう取り組みも行っているよ。

- 県立博物館・美術館にて沖縄県衛生環境研究所による講演「ハブクラゲ等海洋危険生物による被害と対策」を6月中に開催予定。
- 沖縄県内の保健所に海の危険生物についてのリーフレットやパンフレットを設置中。
- より詳しく知りたい場合は、衛生業務課HPで情報を公開しているのでぜひチェックを!

今回のまとめ

- 海では「海の生物の家にお邪魔する」という謙虚な気持ちを忘れずに。
- ハブクラゲの被害を防ぐためには長袖の衣服の着用が効果的。
- 万が一に備え、応急処置方法を覚えておけばさらに安心。